

式辞

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが宣言され、ヨーロッパ・アメリカをはじめとする世界中で感染者の爆発的な増加により社会が混乱し、日本でも大都市圏を中心に感染拡大が止まらない本日、令和二年度鳥取県立米子南高等学校入学式を当初の予定通り挙行できますことに安堵するとともに、御臨席いただきました同窓会水陵会会長 門脇一郎 様をはじめ、御来賓並びに保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可しました百二十三名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎します。保護者の皆様におかれましても、お子様の御入学のお慶びはひとしおのことと存じます。本校を代表して心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さんが本日から学ぶ米子南高校は、一九二七年に創立されて以来、幾多の校名変更や学科改編を経ながらも鳥取県西部圏域の発展とともに歩んできた、九十年を超える歴史と伝統を持つ専門高校です。本校では、人を創り心を育てる教育をとおして社会人として必要な規範意識や人間関係力を身につけ、一般教養と専門的スキルを持って地域社会の発展に寄与できる人財の育成を目指しています。創立以来、地元産業界の発展を支える人財のみならず、県内外で活躍する有意な人財を数多く輩出してきたことは本校の誇りです。

今、ステージ上に本校の校章が掲げてあります。校舎の正面玄関の上とこの体育館入口の上にも同じ校章を見ることができます。現在の校章は、一九五三年三月に制定されたもので、そのモチーフは「蜜蜂」です。この「蜜蜂」が象徴するものは、『勤勉さ、友愛と協力、不屈の気迫と団結』です。これが米子南高校の精神です。新入生の皆さんには是非、本校の精神を受け継ぎ、真の米子南高生になって欲しいと願っています。

さて、新入生の皆さんの高校生活が今日から始まります。米子南高生としての生活をスタートさせる皆さんには目指して欲しい四つの姿があります。

一昨年民法が改正され、二〇二二年四月から成年年齢が現在の二十歳から十八歳に引き下げられることになっています。皆さんは三年生になり誕生日を迎えると、その日から成年・大人として扱われることになります。成年になれば様々な権利を手に入れますが、同時に責任も伴います。そのような皆さんには、「自己の役割を追求し、自覚と責任を持つ人」になって欲しいと思います。次に、少子高齢化や人工知能（ＡＩ）の進展により急激に社会構造が変化する予測不能の時代を生きていく皆さんは、「現状に満足することなく、大胆に行動する人」、「未知の世界への挑戦に、何より心躍らせる人」であって欲しいとも思います。そして最後に、本校の使命でもある「ふるさと鳥取を愛し、地域貢献の気概のある人」になって欲しいと願います。

米子南高校には中学校時代にはなかった教科・科目の授業や検定試験などの学習活動だけでなく、部活動やボランティア活動、地域貢献活動など様々な活動の場があります。新入生の皆さんには、自分でも気づいていない能力やまだ開化していない沢山の能力があります。今日からの三年間で何事にも大胆に挑戦し、また、地域のことをよく知って欲しいと思います。もちろん、うまくいくことばかりではなく、失敗することも壁にぶち当たることもあるでしょう。しかし、米子南高には六十人を超える教職員がいます。そして、皆さんには家族

がいます。この人たちは誰もが皆さんの理解者であり、応援者です。困ったとき、悩んだとき、不安になったときには、一人で抱え込まず是非相談してください。一步を踏み出す道が見えるはずです。また、これから出会う数多くの人との出会いを大切にしたいと思えます。出会いと挑戦は人の成長の原動力になります。皆さんが今の自分に満足することなく、本校での三年間で様々なことに大胆に挑戦し、沢山の人たちとの出会いや関わりをとおして心身ともに成長し、目指す四つの姿に一步でも二歩でも近づいていってくれることを期待します。

保護者の皆様には改めましてお子様の御入学をお喜び申し上げます。本校では、生徒一人ひとりの個性を大事にし、成長と自立に向けて教職員が全力で取り組む所存です。しかしながら、学校の努力だけではそれを全うするには難しいこともあります。学校と家庭とが子どもの成長と自立という共通の目標の実現に向け連携を図っていきたいと考えておりますので、保護者の皆様には、本校の教育方針を御理解いただくとともに、御協力・御支援をお願いいたします。

終わりに、本日御臨席いただきました皆様方に重ねて感謝を申し上げますとともに、新入生の皆さんの本校での高校生活が充実し、輝かしいものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和二年四月七日

鳥取県立米子南高等学校
校長 永野智之